平成28年度　宮城県泉高等学校「志教育」全体指導計画

3つの視点	かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす
各教科指導内容	**国語**		○	○	**地理歴史**	○	○	○	**公民**		○		**数学**		○	○	**理科**		○	○
	国語を的確に理解し、適切に表現して伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばし、豊かな心情をもって社会と関わることのできる総合的な言語能力を養う。				自国及び各国の歴史や風土に対する確かな認識を基盤として、様々な場において自己実現が達成できるような資質を養う。				先哲の教えを利用して複雑な現代の社会の仕組みを考察し，他者を尊重し，主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。				数学的活動を通して数量や図形の意味を実感を持ってとらえたり、思考力、判断力、表現力を高め、さまざまな場面において論理的な思考ができるようにする。				自然の現象やそのメカニズムについて考察し、科学的な見方や考え方を養い、さまざまな場において論理的な思考や判断ができるようにする。			
	保健体育	○	○		**芸術**	○	○		**外国語**	○		○	**家庭**	○	○		**情報**	○	○	
	健康・安全について自己意識の向上に努め、生涯にわたって運動に親しみ、全体の安全に配慮することのできる人材の育成と人間形成の向上を養う。				芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。				英語を正確に理解し、自分の考えを適切に表現できる力を養うと共に、国際的な視野を持って、持続可能な社会の実現に向けて貢献できる資質を養う。				家庭・家庭の意義、家庭と社会の関わりについて考え、生活に必要な知識と技術を習得し、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力を養う。				情報に関する科学的な見方や考え方を養い，情報化社会のなかで的確な判断や効果的な活用ができる力を身につける。			

指導内容	学年共通	かかわる	もとめる	はたす
	①身だしなみを整える		○	◎
	②挨拶の励行	◎	○	
	③朝学習の徹底化	○	◎	
	④学習習慣の確立		◎	○
	⑤自己表現力の向上	○	◎	
	⑥校内美化の励行		◎	○
	⑦保護者や地域社会との連携	◎		

各学年指導目標	
1年	1. 自ら考える姿勢を身につけ，自主的・主体的に適切な判断と行動ができるようになる。 2. 自己の将来につなげた，適切な進路選択を行うことができる力を身につける。 3. 予習，復習，課題提出など，家庭学習の習慣を確立する。 4. 他者との適切な人間関係を築くための基礎的な生活態度を確立する。
2年	1. 自ら考える姿勢を形成することに努め、自主的・主体的に適切な判断と行動ができるよう促す。 2. 来年度に備え、より現実的に進路選択をできる力を養成するため、情報とその機会を提供する。 3. 計画的・継続的に学習に取り組むよう、習慣的な家庭学習を促す。 4. 進んで挨拶する、他者の話をよく聞く、他者との適切な人間関係を形成する、ルールやマナーの必要性を自覚し尊重するなど、社会人基礎となる生活態度を、中堅学年として自覚させる。
3年	1. 最上級学年としての自覚を持たせ，積極的な行動と責任ある態度を身につけさせる。 2. 基本的な生活習慣を確実に身につけさせ，社会の一員としての自覚を醸成させる。 3. 学習の日常化を図り，より高い知識や見識を身につけようとする姿勢を養う。 4. 自己の夢と志を強く意識させ，進路希望を確実に実現しようとする姿勢を養う。

	指導内容	ねらい	指導教科等	実施時期	時数	かかわる	もとめる	はたす
1年	グループ討論	論理的に思考しそれを他者に伝えたり、他者の意見を客観的に聴くという活動から、論理的思考や話す力、聴く力を身に付ける。	総学	4～10月	7	○	○	◎
	オープンキャンパス参加	実際に大学に足を運ぶことで、大学について、具体的なイメージを持たせる。	総学	7月	6	○	◎	
	外部講師による進路講話	大学の入試制度やそれに関わる状況を知り、1年生において何をすべきかを学ぶ。	総学・LHR	9月	2	○	◎	
	社会人講話	様々な社会人の方々の話を聞くことで、職業についてはもちろん、様々なものの見方や考え方についての理解を深める。	総学・LHR	10～11月	2	○	◎	
	ポスターセッション	意見をまとめ、発表するという経験を積み重ねて、他者に自分の考えを論理的に伝える方法を学ぶ。	総学	11月	5	○	○	◎
2年	グループ討論	論理的に思考しそれを他者に伝えたり、他者の意見を客観的に聴くという活動から、論理的思考や話す力、聴く力を身に付ける。	総学	4～7月	7	○	○	◎
	大学模擬授業	学問に対しての関心を深めるとともに、高校での学びとの関連を考えさせる。	総学・LHR	9月	2	○	◎	
	外部講師による進路講話	高校生活の後半に入るこの時期に、自分のより高い進路実現に向けて、何をすべきかについて学ぶ。	総学・LHR	9月	2	○	◎	
	研修旅行事前準備	生徒が主体的に計画を立て、見学先への問い合わせや資料収集をすることで、自ら学ぶ意欲を高める。	総学	4～11月	4	○	○	◎
	研修旅行	大学や研究機関、企業などを実際に見学をすることで、自分の進路についてより具体的に考えるための機会とする。	総学	12月	6	○	○	◎
	研修旅行まとめ・発表	計画から実際の研修までをまとめ、全体の場で発表し、まとめ方や発表の仕方を身に付ける。	総学	12月	3	○	○	◎
3年	卒業生進路講話	先輩の経験談を聞くことで、進路達成の過程をより身近なものとして理解し、その後の取り組みに生かす。	総学・LHR	5月	2	○	◎	
	大学模擬授業	学問・研究について自分の具体的な進路と関連づけることで、進路選択の助けとする。	総学・LHR	6月	2	○	◎	
	外部講師による進路講話	進路達成向けて、3年生としてすべきことを再確認する。	総学・LHR	6月	2	○	◎	
	書籍研究	自らのテーマに沿った新書を読み解き、その分野・内容についての思考を深め、社会を学び、進路達成に向けての意識を高める。	総学	7～10月	7	○	○	◎
	オープンキャンパス参加	自分の志望校について理解を深め、意識の高揚をはかる。	総学	7～8月	6	○	◎	
				合計時数	65			